

令和6年度

ふくしま ゼロカーボンへの挑戦



— 事業所版 —

福島県では、2050年までの脱炭素社会の実現に向けて、省エネ対策の徹底や再生エネの普及拡大など地球温暖化対策の取組を進めるために、「ふくしまゼロカーボン宣言」、「ふくしまゼロカーボンアワード2024」への参加をお待ちしています。

みんなで!!

ふくしま ゼロカーボン宣言

地球温暖化対策に
取り組むことを宣言!

申込期間

令和6年6月1日～令和7年3月31日

申込方法

電子申請

電子申請でかんたんに参加!
参加する事業所にはポスターを
お送りします。

更に
チャレンジ!!

ふくしまゼロカーボン アワード2024

モデルとなる地球温暖化
対策の取組を表彰!

申込期間

令和6年6月1日～令和6年7月31日

申込方法

郵送または電子メール

優秀な取組を10月に開催予定の
表彰式において表彰します。

詳しくは裏面を
チェックしてみてね!



問い合わせ先

福島県庁 環境共生課

電話 024-521-7813

FAX 024-521-7927

e-mail zerocarbonsengen_jigyosho@pref.fukushima.lg.jp

ゼロカーボン宣言

みんなであ!!

・内容

以下の地球温暖化対策に取り組むことを宣言

【共通項目】

- 二酸化炭素排出量の見える化
- 節電・節水
- ★再生可能エネルギーの導入・活用

【産業部門】★設備の運用改善や省エネ設備の導入

【運輸部門】★自動車の燃費向上に向けた対策の実施

【民生業務部門】★照明設備の運用改善や省エネ設備の導入

★印の取組は(Step1)設備の導入の検討、(Step2)実際の導入とし、まずは(Step1)から取り組みましょう。

・参加特典

「ふくしまゼロカーボン宣言」ポスター、二酸化炭素排出量見える化ツール

・申込方法

右記の2次元コードを読み取り、電子申請フォームにアクセスし、申し込みください。

※ 令和6年6月1日～令和7年3月31日まで有効

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/ontai/r6-zero-carbonsengen-jigyosyo.html>

ふくしまゼロカーボン宣言



ふくしまゼロカーボンアワード2024

更にチャレンジ!!

・内容

福島県2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、福島県内でモデル的な地球温暖化対策に率先して取り組んでいる事業所を産業、運輸、民生業務部門の3つの分野において表彰します。

・審査について

有識者等による審査会により、「産業」「運輸」「民生業務」の各部門における受賞者を決定します。

・申込期間

令和6年6月1日～令和6年7月31日

・賞一覧(予定)

部門	最優秀賞	優秀賞
産業	1	1
運輸	1	1
民生業務	1	1

・申込方法

参加部門を選択し、応募用紙及び取組内容をまとめた資料(A4サイズ1～2枚程度、任意様式)を申込期間内に郵送またはメールで提出してください。

※ 応募用紙は右記2次元コード、下記URLよりダウンロードできます。

URL/<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/ontai/r6-zero-carbonhyosyo-jigyosyo.html>

<提出先>〒960-8670 福島市杉妻町2番16号 福島県庁環境共生課

zero-carbonsengen_jigyosho@pref.fukushima.lg.jp

受賞者には次の特典もあるよ!
・表彰式への招待
・取組紹介動画の作成



ふくしまゼロカーボンアワード

令和5年度最優秀賞受賞事業所の取組

※部門は令和5年度のものです。

オフィス・店舗等部門

【日栄地質測量設計株式会社(いわき市)】



ペーパーレス会議の様子

- ・リモート会議や勤怠管理アプリの導入によるペーパーレス化の推進
- ・LED照明、自動消灯センサーの導入
- ・全従業員のマイボトル・マイカップの持参

製造業部門

【株式会社勿来製作所(いわき市)】



水素燃料電池自動車

- ・水素燃料電池自動車(FCV)の導入
- ・熱中症対策飲料コインの導入
- ・SDGs宣言書の策定、従業員向けのSDGs勉強会の実施

運輸・設備業・その他部門

【佐藤工業株式会社(福島市)】



太陽光発電設備の導入

- ・事業所独自の「環境新聞」の発行による意識醸成
- ・自動販売機における缶製品への切替によるプラスチックゴミの削減
- ・複数の事業所への太陽光発電設備の導入
- ・腕時計型センサー導入による熱中症対策

上級編

【生活協同組合コープあいづ(喜多方市)】



フードバンクへの食品提供

- ・天井照明の間引きや多段ケースの照明の消灯等による省エネ対策
- ・再生可能エネルギー由来の電力への切替
- ・バイオマス100%のレジ袋の使用、買い物客へのマイバック持参の呼びかけ
- ・フードバンク・フードドライブの実施による食品ロス削減の推進